

8月6日

午前8時15分、黙祷。65年前の今日、広島は一瞬のうちにたくさんの命が奪われました。

昭和20年12月末までに、原爆で亡くなった人数は、14万人（広島市が国連に報告した人数）といわれます。8月6日は、広島市民が被爆体験を継承し、原爆死没者の霊を慰めるとともに、世界恒久平和の確立を希求する決意を強く全世界に訴える日です。

本校では子どもたちに、この日の意義を理解させ、進んで世界の平和と人類の福祉に貢献する態度を育成したいと、今年も平和集会に取り組みました。

井原小 平和の集い ～被爆ピアノが受け継ぐ平和の祈り～

児童、教職員、保護者、地域の方、合わせて約100人の参加を得ることが出来ました。この貴重な被爆ピアノを通して、皆さんと共に平和について考え、時を共有できましたことを大変嬉しく思い感謝いたします。たくさんのご参加、本当にありがとうございました。



被爆ピアノコンサート



「まちんとの歌」群読発表

広島HOPEプロジェクト:二口とみ彥さんから、原爆で亡くなった河本明子さんの被爆ピアノについてお話いただき、実際に児童3名と教諭2名がピアノを演奏しました。

S君(6年生)が「メヌエット」、Rさん(5年生)が「虹の彼方に」、Kさん(6年生)が「ザ・ストーム」、口村教諭が「子犬のワルツ」を演奏しました。そして、全校児童の群読「まちんとの歌」では、バックミュージックで村上教諭が自作の曲を演奏しました。

河本明子さんの最期の言葉が「トマトが食べたい・・・」であったことを知り、児童の発表した「まちんとの歌」は明子さんの姿とも重なり、会場の人たちの心に響きました。

そして、サプライズ!!「井原小学校の平和集会を是非観たい。」と、大阪から山田紗耶加さんが会場に来ておられました。山田さんは、ピアノの演奏を通して平和の輪を広げようと全国で活動しておられるピアニストです。山田さんは平和への思いを語られ、「愛情物語」を演奏してくださいました。突然のゲストの素晴らしい演奏に、みんな感激しました。

最後に、被爆ピアノを囲み全校児童と会場のみんで「折鶴」を合唱しました。河本明子さんの思いをのせたピアノ伴奏に、100人の歌声が井原小学校の体育館いっぱいに響きました。

休憩時間



わたしは ひばくピアノのおんがくや、ふたくちさんのおはなしをききました。かわいそうだったです。こわかったです。また おはなしをきかせてください。ピアノにガラスがささっていました。つらかったとおもいます。(1年 A子)

サプライズ!!



大阪より ピアニスト山田紗耶加さんが来場!!

会場のみんで「折鶴」を合唱



そして 夜

原爆ドームに

平和のへ祈りが灯されました



7月20日、今年も点灯虫の会の皆さんに指導していただき、全校児童でピースキャンドル作りに取り組みました。一人一人が平和への祈りをこめて作ったピースキャンドルは、8月6日の夜、原爆ドームの周りで灯され、世界の人々に平和へのメッセージを送りました。19時から行われた点灯式では、家族で参加し、自分の手でキャンドルに点灯した児童もいました。

井原小学校のキャンドルも含め何千個ものピースキャンドルが、祈りの灯火で原爆ドームを囲みました。

地球上から戦の火種が消えますように…。そして、キャンドルを作った子どもたちに、命を大切に、人に優しく心が大きくそだちますように…。

